

今月の安全運転管理

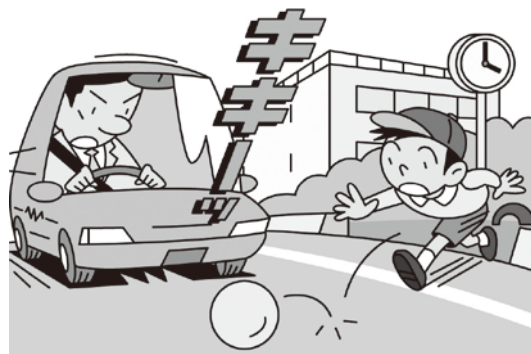
夏休み 子供の飛出し 注意して

①夏場の運転には要注意

- 子供の行動特性を踏まえた運転を実践しよう
- エコノミークラス症候群を予防しよう

②二輪車との交通事故防止を指導しよう

- 交差点での安全確認を徹底しよう



子供の飛出しに 注意して運転しよう

夏休み期間中は、屋外で遊んでいる子供を見る機会が多くなります。住宅街の生活道路など、子供をよく見かけるエリアを走行するときには、十分に注意する必要があります。

子供には、遊んでいる際にボールを追いかけて道路に飛び出すなど、一つの物事に注意が向くと、周りのことが目に入らなくなるといった特性があります。

そのため、「子供は飛び出してくるもの」という意識を持ち、道路脇に子供がいる場合は飛出しを予測し、いつでも停止できるスピードで慎重に走行しましょう。

運転中のエコノミークラス 症候群を予防しよう

エコノミークラス症候群は、車などの狭い座席に座っている長時間足を動かさずにいる

と足に血栓ができ、その血栓が血管の中を流れ、肺を詰まらせることで起ります。

血栓ができる主な原因は血流が悪くなることです。同じ姿勢をとりつづけることで血流は悪くなりますが、水分不足の状態でも血液がドロドロの状態となるため血流が滞ります。

夏場の運転時はエアコンをつけて快適な車内温度を保つだけでも、空気が乾燥するため体内の水分が失われ水分不足に陥りやすくなり、血栓ができるリスクが高まります。

予防のためには、血流を滞らせないようにすることが大切です。喉が渴いていなくてもこまめに水分補給をする、休憩時に足のマッサージやかかとの上げ下ろし運動を行い、足を動かすことを習慣づけましょう。

安全確認を徹底して 二輪車との事故を防ごう

愛知県警によると、県内で

二輪車乗車中の死者が最も多い月は八月で、平成二十八年から令和二年の過去五年間で二十七人が亡くなっています。事故類型別では、単独事故以外に出合頭や右左折時の事故が多発しています。

二輪車は四輪車に比べて車体が小さいため他の車などの死角に入りやすく、二輪車の見落としや発見の遅れにより事故につながっています。

そこで、次のような場面では、危険予測と安全確認を徹底し、二輪車との事故を防止しましょう。

○信号機のない交差点
二輪車の飛出しの可能性がある

○交差点の右折時
対向車の陰に二輪車が隠れている可能性がある

○交差点の左折時
左後方にいる二輪車を巻き込む可能性がある